一人ひとりの夢中が未来になる教育を、ここから。

久喜市教育委員会　教育長　**柿沼光夫**



社会が急速に変化し、将来を予測することが困難な今日では、知識の理解も情報の丸暗記にとどまらず、概念としての習得や、深い意味理解が重要となります。また、社会や生活で直面する未知の状況に対応するためには、思考力、判断力、表現力などを総合的に働かせなければ課題解決につなげることはできません。

そこで久喜市では、これまで培ってきたＩＣＴの効果的な活用力を基盤に、文部科学省の指定を受け、教科の枠を超えて設置した新教科を中核に、探究の学びを推進しています。こどもたちに「好きを育み、得意を伸ばす学び、当事者意識を持って自分の意見を形成し、他者とも対話と合意ができる力」を育成することを目指し、「一人ひとりの夢中が未来になる教育を、ここから」をテーマに教育改革を進めています。これらの取り組みは、県内外からも高く評価され、学校や教育委員会だけでなく、市町村議会や企業など、全国各地から多くの皆さまにご視察をいただいています。

この大きな変革の実現には、学校を支える保護者、地域の方々の理解と支援が不可欠ですが、久喜市では、県内ではいち早く全校に学校運営協議会を設置、コミュニティスクールとして「地域とともにある学校」づくりを進めるとともに、全小学校にある放課後子ども教室「ゆうゆうプラザ」では、地域の皆さまに豊かな体験活動をこどもたちに提供していただいています。

生成ＡＩが社会に浸透しつつある中、「一人ひとりの夢中が未来になる教育」を推進することにより、生涯にわたって主体的に学び続け、「自らの人生を舵取りすることができ、民主的で持続的な社会の創り手」となるこどもたちを育ててまいります。








「知りたい」「やってみたい」という、
こどもたちの『わくわく』は、未来を切り拓く力になります。
久喜市では、その一人ひとりの夢中を大切に、
学び方や環境をこれからも進化させ続けていきます。
こどもたちが自分らしい未来へ歩んでいけるように―








これからさらに進化する教育の形

これまで紹介してきた取り組みのほかにも、こどもたちの未来につながるさまざまな教育の形を進化させていきます。

栗橋ジュニアマーチングバンド スカーレット




栗橋東中学校を拠点に、小学５年生から中学３年生までのメンバーで活動するマーチングバンドです。元々は栗橋東中学校吹奏楽部として活動していた部活が、地域クラブとして生まれ変わり、栗橋地区の小・中学生が、学校の枠を飛び越えて参加しています。結成１年目である令和４年には、全日本マーチングコンテストに初出場し、銀賞を獲得。今年度も、西関東マーチングコンテストで全国出場を決めるなど、目覚ましい活躍を見せています。

休日の部活を地域で活動

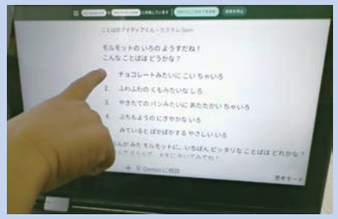
部活動地域展開

休日に行われている部活動を地域の指導者や団体が担う「地域クラブ活動」に展開する取り組みを進めています。スポーツや文化活動を続けられるほか、ダンスやトランポリン、プログラミングなど、学校の部活動にはあまり設置されない活動にも参加できるようになります。また、先生の負担軽減も期待されており、令和９年度までに休日の部活動をすべて地域クラブ活動に展開することを目標としています。




生成AIなどを使いこなす

テクノロジーとの向き合い方を学びます



急速に浸透している生成AI。現在、市内の学校では、こどもたちが実際に生成AIを活用しながら、情報を見極め、自分で考え、より良い答えを生み出す力を身につけています。「便利なもの」の使い方を学ぶだけでなく、テクノロジーとの正しい向き合い方を学んでいます。




プールの授業をプロが指導

水泳授業の外部委託



夏の風物詩であるプールの授業。これを外部委託することで、こどもたちはプロによる専門的な指導を受けられます。屋内プールでの授業となるため、季節や天候に左右されず、快適に授業を受けられます。また、各学校に設置していたプールの維持管理にかかるコストを抑えられるメリットもあります。